

西大和つうしん

2014年 11月号

No.389



古光山から後古光山への急降下
10月12日例会山行：古光山～曾爾高原

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第389号(2014年11月号)

【目次】

1 1 月度山行計画.....	1
1 1 月度・1 2 月度カレンダー.....	2
山行・行事等参加メモ.....	3
山行報告	
・自主山行 《9月27日》 若狭の山 青葉山(藤本).....	4
・女性部山行 《10月4-5日》 〓御杖村のお月見と二上山(村田).....	5
・例会山行1 《10月12日》 宇陀の山 古光山～曾爾高原(橋本).....	6
・例会山行1 《10月19日》 比良の山 リトル比良(的場).....	7
・自主訓練山行 《10月19日》 京都の山 金毘羅山(杉川).....	8
室内例会だより(9/24).....	9

1 1 月度山行計画

～音羽三山から紅葉の名所へ～

◆11月9日(日): 例会山行1 ◆宇陀の山《音羽山～経ヶ塚山》

[L: 都築 / 緊連: 藤本]

【集合】9:10 桜井駅南口(JR側)〔桜井市コミュニティバス: 桜井駅9:25 発＝下居9:38 着〕

【コース】下居バス停(9:40)～善法寺(10:30)～音羽山(11:10)～経ヶ塚山〔昼食〕
(11:40)～熊ヶ岳(13:00)～大峠(13:30)～針道(14:00)～不動滝バス停(14:30)

〔桜井市コミュニティバス: 不動滝発の便: 14:32, 15:36〕

※音羽三山は、関西の日光といわれる多武峰談山神社の東、龍門ヶ岳連峰の北端にあり、道がしっかりしているのでハイキングに訪れる人も増えています。秋は紅葉の名所として知られている多武峰談山神社にも近く、楽しみながら登りたいと思います。

～晩秋の三輪から奈良へ通じる上古の道(7世紀初頃)を歩きます～

◆11月16日(日): 公開山行◆奈良中部《山の辺の道・北半分》

[L: 林 / 緊連: 島崎]

【集合】8:30 JR天理駅東広場(8:45 出発予定)

【コース】天理駅(8:45)～石神神社(9:30)～白川ダム(10:50)～弘仁寺〔昼食〕(11:50)
～円照寺バス停(13:20)～白毫寺(14:40)～春日大社(15:30)〔解散〕

【歩程: 17km / 所要時間: 7時間(休憩含)】※公開山行につき降水確率50%で中止

～紀ノ川沿いに紀の国の富士を訪ねましょう!～

◆11月23日(日・祝): 例会山行1 ◆紀北の山:《龍門山 756.6m》

[L: 杉村 / 緊連: 都築]

【集合】7:00 上牧町役場前駐車場

【コース】(上牧＝京奈和)＝田代駐車場～(10)～登山口～(60)～ちりなし池～
田代峠～(20)～磁石岩～(20)～龍門山～(20)～明神岩～(45)～中央ルート登山口
～(10)～田代駐車場＝(24号線＝道の駅＝京奈和＝上牧)

西大和山の会 カレンダー

11 月		12 月	
1 土		1 月	
2 日		2 火	県連理事会(県連事務所19:30)
3 月	~4(火) 自主山行・鎌雨乞岳・釈迦ヶ岳(島崎)	3 水	
4 火	県連理事会(県連事務所19:30)	4 木	県連登山学校・座学第8回(県連事務所19:30)
5 水		5 金	
6 木		6 土	
7 金		7 日	◆例会山行・(リーダー・行先未定)
8 土		8 月	
9 日	◆例会山行・宇陀:音羽山(都築)	9 火	
10 月		10 水	
11 火		11 木	
12 水		12 金	
13 木		13 土	
14 金		14 日	◆例会山行・鎌井:丸:東山コース(杉川)
15 土		15 月	
16 日	◆公開山行・奈良中部:山の辺の道(林)	16 火	
17 月		17 水	『西大和つうしん』 2015-1 月号原稿締切
18 火		18 木	
19 水	『西大和つうしん』 12 月号原稿締切	19 金	
20 木		20 土	
21 金		21 日	◆室内例会・忘年会
22 土		22 月	
23 日	◆例会山行・紀北:龍門山(杉村)	23 火	
24 月		24 水	
25 火		25 木	
26 水	◆室内例会(事務所19:30)	26 金	
27 木		27 土	
28 金		28 日	
29 土	県連登山学校・訓練山行(前夜祭)	29 月	
30 日		30 火	
		31 水	

山行・行事等参加メモ

		室内例会	例会山行1	例会山行2 公開山行	例会山行1	自主山行				
入会順		10/29 室内 例会	11/9 音羽 山	11/16 山の辺 の道	11/23 龍門 山	11/3-4 雨乞 岳他	12/21 忘年 会			
1	(窪田)									
2	都築	○	○L	×	×緊		○			
3	藤井	○	○	×	○		○			
4	(石田)									
5	多賀	○	×	○	○		×			
6	田中悦	○	○	○	○車		○			
7	島崎	○	○	×緊	○車	○L	○			
8	田中初	○	○	○	○		○			
9	村田	○	○	△	○		○			
10	林	○	×	○L	○	○	○			
11	辻	○	×	○	○車		○			
12	勝尾	○	○	×	○		○			
13	藤本	○	×緊	○	×		○			
14	杉村	○	×	×	○L	○	○			
15	高橋	休 会 中								
16	玉越	○	○	×	○		×			
17	的場	○	○	○	○		○			
18	杉川	○	×	△	×		×			
19	阪口	○	○	○	○		×			
20	橋本	○	×	×	○		○			
21	今井	×	○	×	△					
22	亀高	○	○	×	○車		○			
23	松浪	×								
24	亀井	○	○	○	○	○	○			
25	船江	○	×	○	○		○			
	合計	20	13	10+α	17+α	4	16+α			

自主山行

若狭の山：《青葉山（若狭富士）：西峰 692m/東峰 693m》

【日 程】9月27日（土）快晴

【参加者】L 藤本・杉川・今井（3名）

【コース】松尾寺(11:35)～西ノ権現(12:49/51)～西峰〔昼食〕(12:54/13:44)～東峰(14:17/36)～展望台(15:03/18)～高野分岐(15:36)～高野集落(15:54)～今寺集落(16:24)～松尾寺(16:45/55)＝(エンジェルライン)＝久須夜ヶ岳展望台(17:55/18:25)＝小浜市内〔入浴・夕食〕



久々に青葉山の雄姿を遠望したのが9月21日の高島トレール山行、さらに2日後の秋分23日、下見に訪れた三十三間山からも再びその秀峰を眺めて「行きたいね」と話していたその4日後、県連登山学校の訓練山行が延期されたため、急遽代替山行の話がもちあがった。「ならばあの若狭富士へ！」というわけで、足かけ7日の間に3度目の若狭訪問となる。

登山コースは短いので、あまり急がずに、西の鯖街道とも呼ばれる周山街道から大飯町・高浜町をへて西国三十三ヶ所札所の松尾寺へ。4年ぶりの再訪ではじめ登山口が分からず、寺の本堂におられた方に尋ねて出発したのがもう昼前。初め緩やかで、頂上に近づくほど急になる登山道だが、要所に鎖や梯子が設けられていてすこぶる登りやすい。1時間と少しで西の権現、やがて左手に内浦湾の絶景が見えだすとわずかで西峰に到着、午後1時前に弁当を広げることができた。西峰の南側は絶壁、右に舞鶴港、正面に丹波・江若の山々が望まれる。一方、北側の岩稜を登ると、その頂からは内浦湾が見下ろされ、日本海の遥か彼方へと続く絶景を堪能する。

昼食後は東峰へ。修験道の山、若狭三山の雄なれば、東西の峰の間はかつての行場で岩の難所だが、今では梯子が付いて安全に通過できた。着いた東峰は西峰より1m高いので事実上の山頂。とはいえ、北側の展望がなく地味なピーク。ただ場所が広いので休憩する登山者はこちらの方が多そう。さて、東峰からしばらく下ると高床の東屋が現れる。ここから東側の展望がまた素晴らしい。高浜原を擁する半島部と陸の間に青戸入江、その向こうはるかに真っ赤な青戸大橋がかかる。

ゆっくりと展望を楽しんだ後は、高野集落に下山。4年前は登山バス山行だったのでここでバスが待っていたが、今日は麓の車道を歩いて松尾寺まで戻らねばならない。途中、稜線で出会った何組かの若者と再び擦れ違ふ。南麓から見る青葉山は奈良の矢田丘陵と変わらぬごく平凡な山。見る角度でここまで違う山も珍しい。

車に戻り、今度は小浜市北方の半島へ向かう。無料化された「エンジェルライン」の終点、久須夜ヶ岳直下の展望駐車場に着いたのがちょうど日没時。海を隔てて青葉山のシルエットが浮かびあがる。東西の峰が横に並んだ「ふたこぶ駱駝」のような姿が印象的。これを見納めに小浜市内へ戻って入浴、名店「あずま寿司」のけっしたいな主人が握る極上の寿司で打ち上げ、後は鯖街道を辿って帰路に就いた。

(藤本 武司)

例会山行2：女性部山行

台高の山：《三峰山》(変) 御杖村のお月見と二上山

【日 程】10月4日(土)～5日(日)

【参加者】L 村田・SL 島崎・田中(悦)・藤井・亀高・亀井・船江(7名)

【スケジュール】

- 1 日目：上牧駐車場(13:35)～(途中食材買い出し)～御杖青少年旅行村(15:40)～御杖村村営小屋(16:00) // 夕食(16:40) / 就寝(20:23)
- 2 日目：起床(5:55) / 朝食(6:35) // 出発(7:40)～二上山道の駅(10:55)～くびづかコース～〔昼食〕(12:11)～登山口下山(12:46)



仲秋ならぬ季秋の名月を三峰の山中で・・・を期しての一泊山行、台風接近も気になったが小屋泊だったので、とにかく出発。小屋(村営小屋・森林組合展望小屋)はどちらも貸し切り状態だった。主婦、主夫計7名の知恵が結集した夕食は素晴らしい宴会となり、格調高い山行談義?にも酔いしれた。御杖の空に、おぼろな十三夜の月。集落の灯りも足元にチラホラと。



天気好転を期して早目の就寝。展望小屋は快適だった。前線がピュッと通り過ぎ一時激しい雨を降らせはしたが、夜間は小雨、霧雨程度だった。



うってかわって朝からきちんとした雨。やむなく三峰山への登山は中止。ところが曾爾、青連寺湖、滝谷と西に帰るにつれて青空が見え始めた。どこかに登って帰ろうではないか・・・二転、三転した結果二上山へ。昨夜蓄えた多量のカロリー、わずかだけ消費できたかな?

うではないか・・・二転、三転した結果二上山へ。昨夜蓄えた多量のカロリー、わずかだけ消費できたかな?

冴えわたるお月さんに会いにもう一度行ってみたいなあ～と、数日後の皆既月食拝みながらおもったことでした。

(村田 澄子)



例会山行 1

室生山地：《古光山(952.4m)～曾爾高原》

【日 程】10月12日(日)曇り時々晴

【参加者】L 橋本・SL 島崎・田中(悦)・多賀・辻・勝尾(6名)

【コース】大峠登山口(8:35)～南峰(9:10)～古光山山頂(9:30)～フタカワ峠(10:03)～後古光山山頂(10:26)～長尾峠(11:00)～曾爾高原(11:25/50)～亀山～曾爾高原入口(12:35)

台風の接近で空模様が心配の山行。案の定小雨での登山口出発となったが、次第に曇りから時々青空を見ることが出来る山行日和となる。この日は「曾爾村祭り」が開催される予定があり、高原付近は車の混雑が予想されるので当初の予定を変更し長尾峠に1台駐車しての出発とする。



登り始めからのすごい急登。設置されているロープを頼りに登らないと足が滑り前に進まない。みつえ村の牧場や、曾爾高原、倶留尊山など遠くに見ながら岩場、激下りを何度も繰り返して古光山、後古光山と2つの岩峰を踏む。特に下りは、厳しく私は後ろ向きにしか下ることが出来なかった。曾爾高原から亀山に登り行程を終了する。

本当に気が抜けない登山道だったが面白く楽しい山行だった。高原は台風接近の為か祭りは開催されてなかったが、秋を楽しむ人達で賑わっていた。行程を早く終了でき時間があったので帰りは、檀原市にある「まほろばキッチン」に寄り広い店内を見て回り新米の試食などを楽しんだ。

今回、初めてのリーダーを経験した。山に対しても知識が希薄なのでなかなか山行計画が出来ず、すごく悩んだ。色々と不手際があり反省点一杯！！登山届の出し忘れ、計画書の不備、下山時の報告忘れ等々・・・でも無事に終わりホットしています。参加者の皆様有難うございました。

(橋本 紀子)



例会山行1

リトル比良：《岳山 565m・岩阿沙利山 685m》

【日 程】10月19日(日)

【参加者】L 阪口・SL 藤井・島崎・的場・橋本・亀高(6名)

【コースタイム】JR 近江高島駅(9:00)～岳観音跡(10:20)～岳山(10:36)～オウム岩(11:16)～岩阿沙利山(12:18/45)～滝山(13:30)～寒風峠(13:54)～涼峠(14:22)～JR 北小松駅(15:08)

30分ほど早くJR 近江高島駅で待っていると、われわれのグループ以外の人たちが、蛇谷ヶ峰や八つ淵の滝方面へ行くのであろうか、バスに乗り込んでいく。われわれは快晴のもと、駅から車道の脇の道を20分ほど歩く。長谷寺、大炊神社に着くと、そこからは山道に入る。赤とんぼがたくさん群れていて、帽子にとまりにくる。

水の流れる登山道を登り2、3箇所ややこしい分岐を過ぎると賽の河原である。そこから少し行くと、石灯笼のある日本庭園のようなところに出る。明るく開けていて、そこから湖北の景色が見られた。さらに行くと花崗岩が風化してできた白坂と呼ばれる斜面が現れてくる。その名のとおり一面白い斜面である。ひと汗かいたところで石造観音三尊に着き、まわりこんだところが今日の1つ目のピーク、岳山の頂上である。このあたりで一息つく。

そこからアップダウンを行くと眺望がよいオウム岩。大きな岩があるが、どれがオウムの形に似ているか探したがよくわからなかった。後で調べてわかったが、大きな岩の下に回り込み、下から見た形が、オウムに似ているらしい。ここがこのコース一番の絶景ポイントであるが、昼食にはちょっと早いので、先を進む。



鵜川越まで来ると舗装道に出る。そこを横切ってまた登山道を行くと、岩阿沙利山(イワジャリヤマ)に到着する。ここで昼食タイムとなる。木々の間から麓が見える。ゆっくり食事を済ませ、再出発。滝山など2、3つピークを過るとき寒風峠、そしてそこを下ると、湿地帯で小川の両側に苔が一面に生え、光が当たって美しい。しばらく小川沿いに歩くと、以前釈迦岳に登ったときに通った涼峠(スズミトウゲ)に着く。ここからの道は、少し覚えている。楊梅の滝を過ぎ、滝の入口からは

車道で、予定の電車で十分間に合う時刻にJR 北小松駅に到着した。

このコースで出会った人は数名で、静かな見所の多い、いいコースでした。また、JR 北小松駅から望む晴れ渡った琵琶湖の風景が美しいでした。

(的場 喜義)

自主訓練山行：
県連登山学校 OB・現役合同特別訓練山行：岩登り Part 2

京都北山：《Y 懸ノ頭》

【日 程】10月19日(日)

【参加者】L 中武(奈良労山)・杉川・今井・松仲(奈良労山)・郝(奈良労山)・山田(こぶし)(6名)

【スケジュール】国際会館駅(9:00)＝花尻橋バス停(9:32)～江文神社(10:00)～Y 懸ノ頭に
て岩登り訓練(10:45～17:10)～花尻橋バス停(18:20)＝京都駅(打ち上げ)



今回の岩登りの訓練は金毘羅山にてトップロープでの登りに懸垂下降、そして登りのムーブ、の練習でした。

まずはロープをつなぐ支点を作る。カラビナとスリングをつかい仕組みを学び、実践。見ていると簡単そうに見えるのだが非常にややこしい。カラビナの向きにも注意がいる。たしかにロープを掛ける支点が外れたら怖い。みな真剣に聞き入る。

ロープを掛け、ハーネスにつなぐ。ここでもロープの結びを確認する。間違って結び、ほどける事を考えるとぞっとする。確保をしてもらい登る。普通の垂直の壁は問題ないのだが(余裕と言う訳ではないが…)ハングすると一気にキツくなる。やはり痩せねばと思う。

今までは確保をしてもらうばかりだったが今回からは確保も行ふ。他人の命を預かるともものすごくプレッシャーがかかる。しかし、いい経験になる。確保できないと一緒にいけない。そして懸垂下降の練習を行う。やはりクライミングはロープに全体重を預ける事に慣れないとだめだなと実感。

奥が深い。後はロープワークを繰り返し練習しないと駄目。迷っていると話にならない。勉強と繰り返しの練習が必要。しかし、岩の技術は覚えておくと必ず役に立つと実感します。岩場を歩く時も危険な場所では確保も必要でしょうし、雪山も同じ。しかし、持っているだけじゃ意味がない。使えてなんぼと言う事。岩の技術の習得は是非にでも覚えなければと思いました。

帰りはいつもどおり?で反省会。皆での情報交換の場になりつつあります。今回も楽しい訓練山行でした。

(杉川 明裕)



室内例会だより

【日 時】2014年9月24日(水) 19:00~21:00 事務所

【出席者】島崎、林、杉村、藤本、多賀、村田、田中(悦)、田中(初)、藤井、辻、勝尾、的場、杉川、阪口、今井、橋本、亀井、都築

1. 山行案内

- 10月 4日(土)~5日(日) 例会山行2・女性部山行(月見山行)
台高の山(三峰山) L 村田
10月12日(日) 例会山行1 宇陀の山(古光山) L 橋本
10月19日(日) 例会山行1 比良の山<<リトル比良(岩阿沙利山)>> L 阪口
10月26日(日) 例会山行2 登山バス(奈良県連交流山行)
江若国境の山(三十三間山・轆轤山) L 藤本

2. 山行報告

- 9月 7日(日) 例会山行1 奈良県連主催広域捜査訓練 大峰の山(洞川周辺)
西大和担当(レンゲ谷) L 藤本 7名
9月14日(日) 例会山行2 鈴鹿の山(鎌ヶ岳) L 林 11名
9月20日(土)~21日(日) 例会山行1(テント泊)湖北の山(高島トレイル)
《赤坂山~大谷山、三重ヶ嶽(山上ヶ嶽)~武奈ヶ嶽》L 藤井 14名
9月23日(火・祝) 10/26 催行予定 「奈良県連交流山行」の下見山行
江若国境の山(三十三間山・轆轤山) L 藤本 4名

3. 連絡その他

・県連より報告

理事会において県連が必要であれば、理事長、副理事長、事務局長、会計、教育部長などをすべての会から出すべきであると提案されている。

西大和としては、理事長、事務局長、教育部長を奈良労山1名、奈良HC1名、その他5団体1名を各会で役職を指定しないで選出する。また、自然保護部長は委員の中から、女性委員会は廃止することを提案している。そして、奈良労山からは、主要3ポスト(理事長、事務局長、会計)を西大和とほぼ同じ方法で選出することを提案しているので、その方向で検討されることになる。

・車代については、9月県連搬出訓練 5,000円(《県連》2,000円+《会》3,000円)
来年度より、5月ハイキング搬出訓練 3,000円~5,000円、クリーンハイク 2,000円支給する。

(都築 周作)

西大和つうしん

第389号(2014年11月号)

2014年10月29日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 藤本武司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<http://www.nishiyamatoyama.org/>